『安心を高める努力』を続けます。 社会福祉法人藤雪会

社会福祉法人藤雪会　理事長　又木 京子

今年の年賀状は、「コロナ禍」の不安でいっぱい。世界中のなにもかもが影響を受けているパンデミック。歴史的には前回は100年前のスペイン風邪ですから、だれも直接経験しないので不安で当たり前です。

「コロナ禍」に見舞われるまで、私は多くの歴史が感染症に影響を受けていることに気づきませんでした。よく考えれば、日本に仏教が広がったのも、単なる平和祈願ではなく、病魔疫病退散だったろうし、奈良の大仏建立は当時の疫病天然痘退散祈願でした。

現代の奈良の大仏に変わるものは、「ワクチン」でしょうか？

でもこれもあまりにも短期間に作られたので副作用がちょっと怖いし、大体ワクチンを最貧国にも配れるのだろうかと不安になります。安心を手に入れるのは困難です。

ただ別の角度から見ると、インフルエンザが全くといってよいほど患者がいません。毎年1月は1週間に10万人前後の患者がいるのに今年は100人を超えません。はしかも風疹も昨年後半はほぼゼロ。他の感染症も、ここ10年間で最低の患者数です。外出を抑え、マスクをし、ちょっと具合が悪ければ休むことがコロナ以外の感染症を抑えているのです。

だからこそ、コロナ禍ももうちょっと生活の我慢を重ねることが最大の対策なのかもしれません。

社会福祉法人藤雪会の理念は「安心を支える」です。コロナ禍の安心を支えることは難しいですが、それでも日常の生活の安心を支えるために、相談事業もデイサービスもヘルパーもお泊りも入居施設もそして保育園も日々開いています。昨年4月には、念願だった特別養護老人ホーム「あつぎポポロ」を開所しました。

「おひとり様」が増えている昨今、ケアセンターあさひで在宅生活を支え、あつぎポポロのグループホームや特別養護老人ホームで入居もできる、「安心を支える」施設がそろいました。

時節柄、『ご自由に見学してください』と言えないのが心苦しいのですが、今後も「安心を高める努力」を続けていきます。

ケアセンターあさひ職員グループ きりん の活動

Withコロナの2021、力をたくわえて ジャンプしましょう！！

感染予防で、職員会議や親睦会もできない状況が続いていますが、様々な支援活動は続けています。国際保健協力市民の会、日本赤十字（年2回）、JIM－NETチョコ募金、神奈川コロナ医療福祉応援基金へ寄付をしました。

日本赤十字歳末助け合いには、職員の手作りマスクを手に、様々な方が募金箱へ入れてくださいました。中には「誕生日の妻へのプレゼント」とマスクを数枚手にする職員もいました。花模様の手作りマスクは素敵なプレゼントになりましたね。

20代から80代まで多様な働き方をしている、きりんメンバーですが、これからも助け合い、支えあって、それぞれの業務に責任をもちながら、地域福祉活動への視点を忘れません。

新型コロナ感染症予防対策！

居宅・ヘルパー事務所も入口で消毒の徹底。まず、つい立の手前で声をかけていただきます。

ケアセンターあさひの受付では、当事業所の感染症対策を掲示し、手指消毒・検温の徹底をお願いしています。

向かい合ってのデスクワークも、飛沫を防ぐ工夫をしました。

フロアで手作業時も「マスクは、大事だね」とご協力してくださいます。

昼食、ちょっとした工夫で感染予防

テーブルごとに仕切りを置いています。

南包括の相談コーナーパーテーションで安心してご利用いただいています。

スタッフの食事休憩は、三密をさけ、一人ずつで。

「一人で食べても愛妻弁当は、うまい。」

ボランティアさん紹介

美容師
ハタヤマ　スミ
畠山 澄さん
S21年生まれ
岩手県のご出身

ご要望が多い、髪カットのボランティア（美容師）さんをご紹介します。
新型コロナ感染症予防に留意し、三密をさけるため、1階オープンスペースで対応していただいています。
2003年秋ごろより、月1～2回来所してくださっています。「かっこよく切って。」のご希望にも的確に対応され「うれしい、ありがとう」の声が聞こえます。どの方にも手早く、素敵にカットして下さり好評です。

旭町で開業していた時は、明るく優しいお人柄が人気で、お店がちょっとした寄合所のようでした。
畠山さんは、「長く来させてもらって、とてもありがたい。今は、自分の美容室は開いていないので、ここに来るのが楽しみです。あさひさんは、入りやすい雰囲気がありますね。」と、おっしゃってくださいます。これからも、お元気であさひに長くお越しください。（他にも、美容ボランティアさんが2名、随時来所して下さいます。）

閉じこもりを防ぎ、
フレイル（心身の活力の低下）予防を！

定期的で適切な運動は、筋肉の衰えを防ぎます。

あさひの通所介護サービスや小規模多機能型居宅介護ゆったりでは、ADL体操、タオル体操、ラジオ体操そして遊びりテーションなどを行っています。週1～2回の通いで体力の低下を防ぎませんか。

ご利用お待ちしています。（介護保険対応のサービスを提供しています）

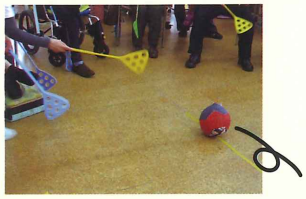
（お問い合わせ先　046－229－9110）

あさひ名物

イガイガ
ボール体操

タオル体操

ラジオ体操　第1・第2～


ベンチホッケー

そしてバランスの
取れた食事を提供

腕と脚を
伸ばそう！

2021年度部門管理者の顔、かお、KAO

○ケアセンターあさひ在宅支援　電話　046－281－8110

居宅介護支援管理者：大江　洋子

訪問介護、障がいヘルパー管理者：山咲　良子

○ケアセンターあさひ　電話　046－229－9110

通所介護管理者：山崎　恵美

小規模多機能型居宅介護ゆったり管理者：白石　理恵子

食事サービス責任者：高橋　しのぶ

○厚木南地域包括支援センター　電話　046－258－6705

管理者：沢尻　美幸

2021年度も、よろしくお願いいたします。

社会福祉法人藤雪会は、「税制控除法人」を取得しています

藤雪会に寄付をしていただくと、約40％の所得税を控除することができます。

これは、社会福祉法人が制度内の介護保険や保育事業にとどまらず、積極的に地域福祉を進めていく費用に充てることを目的とした「税制控除法人」という寄付制度です。税金として支払うお金の使い道を自分で選べるということです。

地域社会を豊かにするために、藤雪会への寄付をお待ちしています。

編集後記

あさひだより89号をお届けいたします。早いもので、法人開設、施設開所共28年目となりました。社会情勢が今までになく、緊迫した状況が続いていますが、引き続き、在宅サービスの要となるよう、職員一同努力して参ります。お気づきの点は、何でもお申し出ください。

（編集、発行責任者　赤堀　仁美）

2021年4月　第89号
発行●社会福祉法人藤雪会
ケアセンターあさひ
厚木市旭町2-3-13
Tel.046-229-9110
Fax.046-229-9125

ケアセンター あさひだより 89

care center asahi dayori

ふるさと北海道の思い出

松本 ちか様　96歳

小規模多機能型居宅介護「ゆったり」をご利用の松本ちか様は、北海道の追分町のご出身、農家の二男四女の四女としてお生まれになりました。お母様は、下の弟がお生まれになった時に亡くなられたそうです。お母様亡き後は、お父様を敬い、兄弟姉妹の団結力で助け合いながら、仲の良いご家族の中で育ってこられたそうです。ご実家はお米農家で、馬に乗っていた思い出もあるそうです。

ご結婚後は三人の娘さんに恵まれました。和裁・人形作り・ペーパーフラワー・園芸（蘭の温室栽培）など多くの趣味をお持ちで、ご夫婦でよく旅行も楽しまれたそうです。ご夫婦の旅は、ツアーではなく、ホテル予約と切符だけの旅。言葉が通じない外国でも「何とかなる」と、ちか様がご主人を引っ張って行く珍道中（？）。もちろん、いつも無事にご帰宅。60歳で取った運転免許で、車中で寝泊まりしながら青森・北海道めぐりの旅もあったそうです。

ちか様のご主人が脳梗塞で倒れた後、娘様は、ちか様ご夫婦を北海道から厚木の娘様宅に呼び寄せました。

「今、母は穏やかで安心しています。自分では何もできませんが、いつもニコニコしています。それが、嬉しい。」と、娘様はおっしゃっています。

いつもやさしい笑顔をたやしません

ちか様のお部屋に飾られた趣味の作品
ご自分で採取した蝶と花で
つくられた風景画は力作

小規模多機能型居宅介護 ゆったり

松本ちか様は、2011年4月1日（ゆったり開業時）から長くご利用になられています。現在、週2回の宿泊と週2回の通いのサービスを組み合わせ、温かく見守る娘様ご夫婦と安心して暮らしています。

3階ゆったりのフロアで
管理者の白石ケアマネジャーと楽しいひと時

ゆったりでお出掛けのご様子

ご自宅のお部屋

スタッフとご自宅に到着
「お帰りなさい」と娘様